

平成 23 年度 第 8 回石狩市行政評価委員会

日時：平成 23 年 7 月 13 日（水） 9 時 00 分～

場所：市役所 3 階 庁議室

企画經濟部 企画課

【会議次第】

1 開 会

2 議 題

(1) 施策評価「観光の振興」について

4 その他

5 閉 会

平成23年度施策評価シート

第4期石狩市総合計画(戦略計画)における位置付け		1次 評価者 (当該施策 を担当する 部長)	所属	企画経済部
めざすまちのテーマ等	3 元気で活力あるまち		職名	部長
施策項目	(4)観光の振興		氏名	佐々木 隆哉
			TEL	72-3163

【1 施策の目的】

既存の観光資源の活用・整備、新しい観光スポットの創設、観光ルートの開発などにより、魅力ある観光のまちをめざす。

【2 計画策定時の状況】

本市には、観光振興の活性化に有用な多くの資源が内在しているものの、昨今の多様化する観光ニーズに対し、観光客を十分に満足させるだけの資源の活用手法や受け入れ体制が充実しているとはいえない。このため、観光客の求めるニーズに的確に対応するため、観光に関連する団体、企業、事業者をはじめ、地域住民が連携し、観光素材を掘り起こし、磨き上げ、癒しや感動を与えることができる、ホスピタリティ(もてなしの心)あふれる体制づくりなど、多面的な取り組みを進めていく必要がある。

【3 成果指標】

		指標の名称					単位	H17実績値	H23目標値
指標1	観光入込客数					万人	173	↗	
指標2	石狩市ホームページアクセス数(観光部門)					千人	83	↗	
指標3									
指標4									
		H18実績値	H19実績値	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23目標値に 対する達成状況	H17実績値 との比較	
指標1	173	155	200	189	172	×	×		
指標2	120	224	285	315	344	○	○		
指標3									
指標4									

○到達、×未達 ○向上、×低下

【4 現状把握と今後の方向性】

(1)現状の評価と課題

- ・指標1は、春先の天候不順や夏から秋の猛暑・大雨に加え、番屋の湯の閉館もあって、前年割れとなりH17実績も下回る結果となった。屋内型の観光施設がほとんどない本市の場合、観光入込みは気候に大きく左右されることが避けられない。このため、海水浴場など認知度の高い観光資源の魅力向上により、集客力の底上げを図ることが課題となっている。
- ・指標2は、インターネット利用者数の増加と鮭醤油らーめんなどの新規コンテンツ開発により順調に伸びており、本市の観光資源がますます多くの関心を集めていることを示している。今後もコンスタントに新たな話題を提供できるよう、官民あげでの取り組みが求められる。

(2)施策を取りまく状況の変化(社会環境の変化、住民、議会等からの要望等)

- ・観光振興に向ける市民、議会の関心は引き続き高い。本市の場合は、外国・道外客よりも道内客をメインターゲットとせざるを得ないこともこれまでと同じだが、海外プロモーションや大規模ロックフェスを活用するなどして、そうした現状を少しずつでも変えようとする動きも生まれている。
- ・これまで毎年十数万人を集客してきた番屋の湯・宿の運営が不安定になっていることから、これらに頼らない本町地区の観光振興戦略が求められている。
- ・近年の市内での農商工連携機運の高まりなどにより特産品の開発が活発化している。これらを広く発信することは、本市の注目度を高め、旅行者誘致につながる効果が期待できるとされる。

(3)今後の取り組み方針(改善・改革の方向性)

- ・本町地区は、海水浴場、はまなすの丘、石狩川などの「ブランド」をさらに魅力あるものにできるよう、官民がそれぞれハード・ソフト両面からの取り組みを進めて、「温泉頼み」からの脱却を図る。
- ・本市の農水産資源や企業集積を生かした特産品開発を支援すると同時に、市内外でこれらを発信する「物産振興」に向けての取り組みを開始する。
- ・設備面での改善を行った厚田海浜プールと観光案内所の集客力やその可能性を見極め、指定管理者とともに望ましい運営のあり方を研究する。

【5 パブリックコメント】

--

【6 行政評価委員会意見】

(1)現状の課題認識に関する意見
(2)今後の方向性に関する意見
(3)施策等に関する評価意見

【7 行政評価会議（最終評価）】

(1)重点的に取り組む事項（新に取り組む事業、規模拡大を図る事業等）
(2)見直しすべき事項（廃止、縮小、統合、改善を図る事業等）
(3)その他特記事項

施策名 観光の振興

	人件費	事業費	総コスト
平成22年度施策コスト	52,498	78,660	131,158 千円

市民一人あたり
2,150 円

施策の体系		担当課	H22決算					現状の課題 (課長評価1次)	今後の方向性 (課長評価1次)	
			目次No.	事業名	人工 (関係課含む)	特定財源				事業費計
		うち地方債				一般財源				
①観光資源の活用・整備・宣伝										
4-1	1	海水浴場等開設業務	商工労働観光課	0.43	1,165	-	16,753	17,918	水洗式トイレの設置。	安全管理は現行を維持。他の観光事業と連携した集客イベントの開催やトイレの水洗化に向け検討。
4-2	2	観光センター運営事業	商工労働観光課	0.08	-	-	7,422	7,422	来館者数が減少している。	基本的には現行通り実施していくが、地域の観光イベント支援を強化し、相乗効果を図る。
4-3	3	厚田観光施設運営事業	商工労働観光課	0.80	9,000	-	3,621	12,621	誘客に繋がる企画運営ができていない。	他の観光事業と連携した集客イベントを開催する。
4-4	4	観光振興事業	商工労働観光課	3.53	-	-	23,281	23,281	観光施設の老朽化対策。	必要最低限の施設修繕を行い、施設の長寿命化を図る。
4-5	5	(社)石狩観光協会運営支援事業	商工労働観光課	0.40	-	-	17,053	17,053	観光客への「おもてなし力」が不足している。	事業に携わる事業者等に先進事業の取組紹介やセミナー、講演会への受講機会の提供に努める。
4-6	6	林道ウォーク事業	浜)地域振興課	0.50	-	-	365	365	参加者の減少。	参加者のための魅力づくりを検討する。
再掲	7	【再掲】 浜益保養センター管理運営事業	地域包括支援センター						この事業の評価は施策「保健・医療の充実」に掲載しています。	
②魅力ある観光ルートづくり										
再掲	8	【再掲】 (社)石狩観光協会運営支援事業	商工労働観光課					-		
③受け入れ体制の整備										
再掲	9	【再掲】 観光振興事業	商工労働観光課					-		
	10							-		
	11							-		
	12							-		
	13							-		
	14							-		
	15							-		
	16							-		
	17							-		
	18							-		
	19							-		
	20							-		
合計				5.74	10,165	-	68,495	78,660		